

平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた 今後の治水方策の検討を行います

- 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害を対象として、学識者からなる現地検証チームにより信濃川下流域におけるこれまでの河川整備等に関する現地検証作業が実施され、検証はとりまとめの段階に入りました。
- 現地検証チーム成果（中間段階を含め）を踏まえて、新潟・福島豪雨を教訓とした信濃川下流域の河川整備の方向性、及び今後の治水方策に関する議論を行って頂くために、有識者、地域の自治体の代表者からなる「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた治水方策に関する懇談会」を設置します。本懇談会により、年末を目途として、今後の治水方策等に関する提言をとりまとめて頂きます。

1. 懇談会メンバー

別紙

2. 第 1 回懇談会開催案内

日時 : 平成 23 年 10 月 31 日（月）15 時 00 分～17 時 00 分

場所 : 北陸地方整備局 4F 共用会議室

（報道機関関係者による傍聴、撮影について）

- ・会場設営の都合より、傍聴される方は事前に下記問い合わせ先まで登録をお願いします。
- ・懇談会冒頭の撮影は可能です。
- ・懇談会会場では担当官の指示に従うようご協力をお願いします。

新潟県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 025-280-8880（代表）（内線 3611）
河川計画課 課長 村山 英俊

平成23年7月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた

治水方策に関する懇談会の構成

(敬称略、五十音順)

氏名	所属
泉宮 尊司	新潟大学工学部建設学科土木工学教授
笠原 悟	新潟県危機管理監
久住 時男	見附市長
國定 勇人	三条市長
篠田 昭	新潟市長
中井 検裕	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授
西澤 輝泰	新潟大学名誉教授
〔座長〕 福岡 捷二	中央大学研究開発機構教授
細山田 得三	長岡技術科学大学環境・建設系教授
丸井 英明	新潟大学災害・復興科学研究所教授

(参考) 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証の実施方法

(1) 第 1 段階：現地検証

学識者を中心とした現地検証チームを設置し、現地で生じた事案の検証作業を行う。

〈現地検証の具体テーマ〉

- a) 気象、水理・水文条件
- b) 16 年豪雨対策の効果、超過洪水の発生状況
- c) ダムが果たした役割
- d) 危機管理（情報、水防、避難）

※現地検証チーム資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/river/gouusuigai/hyousi.html>

(2) 第 2 段階：新潟・福島豪雨水害を教訓とする今後の治水方策の検討

平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた治水方策に関する懇談会により、現地検証チーム成果（中間段階を含め）を踏まえて、新潟・福島豪雨水害を教訓とした今後の治水方策等に関して検討し、提言をとりまとめて頂く。